

第6週の発生動向 (2007/2/5 ~ 2007/2/11)

1. 咽頭結膜熱については、八戸、むつ保健所管内において、第50週から**警報**が継続しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、東地方+青森市、弘前保健所管内においては第5週から、むつ保健所管内において、第49週から**警報**が継続しています。
3. 伝染性紅斑については、むつ保健所管内において、第3週から**警報**が継続しています。
4. 感染性胃腸炎については、県全体では減少傾向にありますが、今後も引き続き注意が必要です。
5. インフルエンザについては、当該週では68人の報告があり、迅速診断キットにより、弘前保健所管内でA型：31人、むつ保健所管内ではA型：16人、B型：6人が報告されています。

第6週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

保健所名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数						
	疾患番号・疾患名	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数		定点	数	定点	数	定点	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹	
(72) インフルエンザ	7	0.50	31	2.07	2	0.14	1	0.14	5	0.56	22	3.67	68	1.05	50			7	0.58							
(58) RSウイルス感染症	1	0.11	19	2.11					7	1.40	4	0.67	5	1.25	-9	1	1.00									
(60) 咽頭結膜熱	7	0.78	2	0.22	20	2.22			6	1.00	10	2.50	45	1.07	5			7	0.88							
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24	2.67	29	3.22	9	1.00	5	1.00	13	2.17	17	4.25	97	2.31	-32			24	3.00							
(62) 感染性胃腸炎	32	3.56	27	3.00	10	1.11	2	0.40	25	4.17	28	7.00	124	2.95	-30	10	10.00	22	2.75							
(63) 水痘	26	2.89	14	1.56	27	3.00	3	0.60	17	2.83	4	1.00	91	2.17	26			26	3.25							
(64) 手足口病									2	0.33			2	0.05	-4											
(65) 伝染性紅斑								4	0.80	3	0.50	8	2.00	15	0.36	-16										
(66) 突発性発しん	2	0.22	3	0.33	7	0.78	1	0.20	5	0.83	3	0.75	21	0.50	-1	1	1.00	1	0.13							
(67) 百日咳															0											
(68) 風しん					1	0.11							1	0.02	1											
(69) ヘルパンギーナ	2	0.22							1	0.17			3	0.07	2			2	0.25							
(70) 麻しん(成人を除く)															0											
(71) 流行性耳下腺炎	18	2.00	5	0.56	8	0.89	2	0.40	2	0.33	2	0.50	37	0.88	-27	1	1.00	17	2.13							
(73) 急性出血性結膜炎															0											
(74) 流行性角結膜炎	3	1.50						2	2.00				5	0.45	-4			3	1.50							
(82) マイコプラズマ肺炎					4	4.00							8	8.00	12	2.00	-6									

は警報 注意報 「空欄」：患者発生数0

感染症の窓

薬剤耐性菌感染症

(平成17年-18年まとめ)

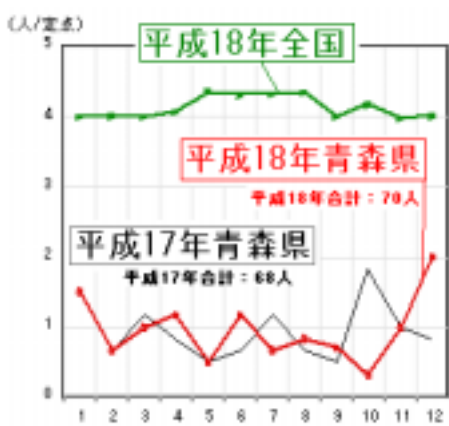


図1 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



図2 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

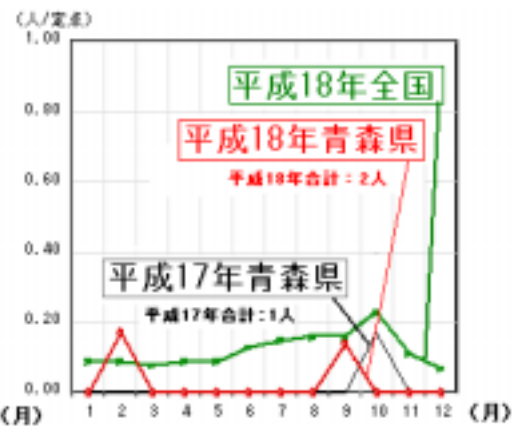


図3 薬剤耐性緑膿菌感染症

- ・図1：メチシリンなどペニシリン剤をはじめとして多くの薬剤に対し、多剤耐性を示すようになった**黄色ブドウ球菌**による感染症で、腸炎、敗血症、肺炎、腎機能障害、肝機能障害などの症状を起こします。
- ・図2：ペニシリンに対して耐性のある**肺炎球菌**による感染症で、化膿性髄膜炎や中耳炎、関節炎などを引き起こします。
- ・図3：ラクタム剤、アミノ配糖体など多くの薬剤に対して耐性を示す**緑膿菌**による感染症で、敗血症や気管支炎、尿路疾患、皮膚病変などを引き起こします。